

令和6年第3回定例会報告

ぜひご一読ください。

葛城市議会議員

柴田みつの

こんにちは！
葛城市議会議員の柴田みつのです。
みなさんの声をしっかり行政に届けます！

プロフィール：奈良県葛城市生まれ
新庄小学校・新庄中学校卒業
奈良県立高田高校卒業
京都女子大短期大学部卒業
ラ・トロブ大学（オーストラリア）中退
メルボルン（オーストラリア）23年在住
通訳案内士

活動報告

2024 VOL.3

あなたと、ともに。



発行／柴田みつの後援会 奈良県葛城市新庄62番地 TEL&FAX 0745-69-2943

柴田みつの 活動報告



23年暮らしてきたメルボルンの多くの友人の中に、写真家のジム・マクファーレンと今はロンドン在住の写真家アンソニー・ドートンがいます。2人はバングラデシュのロヒンギャ難民の写真を撮っていて、いつか日本に紹介したいと思っていました。

ユニセフ奈良に写真を持ち込み、昨年9月、奈良県立図書情報館と葛城市で写真展を開催することができました！ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

そして何より嬉しかったのは、市内の小学校で、ロヒンギャの実情を写真を通して子どもたちに話をする機会を頂けたことでした。

今この瞬間も、理不尽な理由で苦しんでいる同年代の子どもがいるということを知るだけでも、自分たちの生活を見直し、そして感謝できるきっかけになったのではないかと考えています。

私も通訳として2人の思いを伝えることができて本当に良かったと思っています。

これからもこのような機会をどんどん作ります。

葛城市の未来のために、私にしかできないことをやっていきます！





① 世界とつながる 葛城市の子どもたち

23年のオーストラリアの生活での経験から、人生の早い時期から異文化に触れることがいかに大切さを実感しています。葛城市の子どもたちすべてが、異文化を知り、英語に興味を持てる環境の実現を目指していきます。

具体的には、各小中学校と海外の学校との交流、ホームステイ、生きた英語にふれる機会を増やすなどです。

そして、何より大切なのは自分の国、まち、文化、そして自分自身のことを日本語、英語で話せることだとわたしは信じています。ただ単に英語が話せるだけでなく、何を話すか、何を伝えたいのかが大事なのです。そのためにも異文化に触れることはとても大切なことです。

③ 災害時にも重要になる ひとのつながり

能登半島の地震を受け、“受援”の体制を整えることの大切さを学びました。葛城市もこれから“受援”体制を整えていくと聞いています。災害時での自助・共助・公助は、それぞれ大切な役割がありますが、地域での人のつながりが希薄になっている現在、いざとなった時、共助がどこまで機能するか不安です。特に葛城市では新しく転入された方も多く、古くからの地区との連携も取りにくい状況があるかもしれない中で、やはり日頃からのつながりが大切であると感じています。市民農園や伝統行事への参加など、協同することで顔見知りになり、災害が起こった時にお互いが助け合うことができるのではないかと考えています。

そのような“つながる”機会を創出していきます。

② 経済を回す 仕組み作り



葛城市は子育てしやすいまちとして、奈良県では唯一人口が微増しています。とても嬉しいことですが、同時に子どもさんへの補助も増え、市の財政が少々きつくなってきています。企業誘致を積極的に推し進めるべきだと思っていますが、同時にもっと市内で起業してくれる人たちを積極的に支援する仕組みを考え、雇用を増やし、税収を増やせたらいいのではと考えています。

令和6年第1回定例会において一般質問で提案しています。

ぜひQRコードを読み込んでご覧ください。

葛城市の未来について 話ませんか？

小さなグループで
ワイワイとお話しましょう！

毎月第4土曜日は、下記の場所を開放して、お待ちしております。

お気軽にお立ち寄りください。

場所： ブレンドONE
葛城市新庄62番地

日時：毎月第4土曜日
13:30-17:00

お問い合わせ：
080-8521-0463
または公式LINEから！



柴田みつの 後援会

〒639-2147 葛城市新庄62番地
TEL&FAX 0745-69-2943 携帯080-8521-0463

<https://www.mitsuno-shibata.com/>

LINE



ご登録よろしくお願いします！

